

## 全国の在宅ワーカーへ仕事を発注

### 記録やマニュアルの整備が日常



代表取締役社長  
磯 豪浩 さん

1991年に在宅ワーカーへの仕事の受発注管理を行う企業として創業しました。当時、自宅でパソコンを使用している人のスキルは高く、通信環境が一般家庭へ徐々に普及し始めていたので、在宅で働ける人を広い地域で募集できるのではないかと考えたのがきっかけです。

現在、在宅ワーカーはほぼ全国に広がっています。案件ごとに納期と報酬を設定して募集を行い、応募者の人数やスキルなどを考慮して発注しています。また、震災後に情報技術センターを竣工した大槌町にも、数名の在宅ワーカーがいます。育児や介護などで自宅を離れることが難しい方たちに、在宅でできる作業を割り振っています。インターネット技術の発達は、時間とコストの削減になります。テレワーカーへの指示や作業確認はチャットを利用。やり取りの履歴が残って確認しやすいので、口頭で伝えるよりもメリットがあると感じています。マニュアルの整備も日常的に行っています。

### 自分で時間を調整して仕事を受注



現在、子育て中のため、入社してフルタイムで働くよりも、家で仕事をしながら子供との時間を取ることを優先しました。在宅勤務で、一日に3~4時間ほど、データの入力や編集などの業務を行っています。

定期的に会社から仕事の募集がかかるので、それに応募し、仕事を得ます。それぞれの仕事には、作業内容・納期・報酬などが決められています。

納期までに作業が可能な時間を調整して、仕事に取り組んでいます。自分がやりたい時間に、仕事を受けられるのがメリットです。

テレワークでは、自分が元々持っているパソコンスキルを使って仕事ができていることにも満足しています。パソコン関係の仕事は、日々状況が変わってしまっていますが、セキュリティ研修やアプリケーションの情報などが、定期的に会社から入ってきます。これにより、自分のスキルを衰えさせることがなくすんでいます。

いずれフルタイムで勤務するときには、スキルを維持していただくことが生かせるのではないかと考えています。